

平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

教職員は「教学相長」の創立時精神を踏まえ、「チーム布施高」として、その資質・能力の向上を図り、教育内容の充実と環境整備につとめ、

1. 基礎学力・語学力を確実に身につけ、思考力・判断力・表現力・行動力を備えた生徒の育成に努める。
2. 自他を認め、まごころと思いやりを持つ心身ともに健全で規律ある生徒の育成に努める。
3. グローバル社会を生き抜くため、個を磨き、自己成長を習慣化できる人間の育成をめざす。

2 中期的目標

1、確かな学力の育成

(1) 授業力向上

ア プロセスアプローチの導入。各学年の教科毎に Input と Output を定義し、投入する資源、陣容、運用方法（手順・技法）、評価指標（監視測定項目と目標値）を明確にする。各年度毎にプロセススタート図の作成と Web 公開

イ アンケートの活用や公開授業・研究授業の推進。学校教育自己診断における「学力のつく授業が多い」の項目で、肯定的回答 20%増 (H24 年度は 50%) を達成する。

ウ ICT を授業に積極活用することで、わかる授業、興味を引く授業を展開する。

(2) 進路保障

エ 普通科専門コースを導入し、将来生徒たちがなりたい自分を実現する選択の幅を広げる。

オ H28 年度国公立合格者、関関同立合格者を平成 25 年度比倍増する。(H25 年 現役：国公立 7 名、関関同立 25 名)

(3) 自学自習への仕掛け

カ 家庭学習課題の充実、新入生対象学習合宿の実施、補習・講習の充実

キ 校内自習環境の整備推進

ク PTA 活動での保護者への働きかけ

2、健全な心身の育成

(1) 自己を厳しく律する力と自尊心の育成

ア 挨拶指導・遅刻指導の充実により、H27 年間総遅刻数 H24 年度年度（総遅刻数 5346）比 30%減の実現

イ 充実した自治会行事の継続、部活動の加入率 80%以上の実現（H25 年 5 月時点 66%）

ウ 教育相談委員会の活性化、個別生徒支援の充実を図り、学校教育自己診断における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定的回答 70%以上を達成する。(H24 年生徒 52%、保護者 65%)

3、夢・志のはぐくみ

(1) 系統的なキャリア教育による志や目的意識の醸成

ア FROM NOW（総合的な学習の時間）や LHR・学校行事の見直しと充実。

イ 国際理解教育の推進

(2) 地域連携強化による地域に大切にされる学校づくり

ウ PTA 活動の充実を図り、保護者授業参観参加者の倍増を実現するとともに、新たに導入したワークショップ形式の保護者と教職員の意見交換会の継続・充実に努める。

エ 近畿大学をはじめ他大学との連携による出前講義・体験講義の充実を図る。また、司馬遼太郎記念館との連携の充実を図り、志学に位置付けた「司馬遼太郎学習プログラム」「菜の花忌運動」を展開する。

4. 機能的な組織運営

(1) 情報化の推進と業務効率 Up

(2) 運営委員等のミドルリーダーの育成

(3) 若手教員の育成

(4) 防災教育・訓練の充実

(5) 広報活動の充実

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価

<p>確かな学力の育成</p>	<p>(1) 授業力向上 ア プロセスアプローチ イ 授業アンケートの活用や公開授業、研究授業の推進 ウ ICT活用授業</p> <p>(2) 進路保障 エ、オ 専門コース設置</p> <p>(3) 自学自習 カ、キ、ク 授業以外の学習時間確保</p>	<p>ア 各学年教科毎にプロセスのタートル図作成とWeb公開</p> <p>イ 教員相互の授業見学（少なくとも教科内授業）とReview会の実施</p> <p>ウ プロジェクター、iPadを活用した授業の実施で、生徒の興味や関心を引くとともに考える時間を創造する。</p> <p>エ、オ 2年生に3学級アドバンスコースを導入し、国公立、難関私学に対応する授業実施</p> <p>カ、キ、ク 家庭学習課題の充実。学習合宿実施。年間補講、講習計画と実践。サテラインゼミの実施。質問コーナー整備。</p>	<p>ア 授業アンケートで「学力の付く授業が多い」「教え方を工夫している先生が多い」の生徒肯定的回答の10%増（H25年55%）</p> <p>イ 教員による授業見学全員参加。</p> <p>ウ ICTを活用した教員30名以上、授業アンケートで「ICT機器が各教科で活用されている」肯定的回答50%以上（H25年度36%）</p> <p>エ、オ アドバンスコース新2年生が3年生春スタディサポートで2年生春レベルを維持</p> <p>カ、キ、ク 4月と11月に授業以外の学習時間を調査。1、2年生は平日60分以上、3年生は平日120分以上。 学習合宿後のアンケートで学習意欲高まったの肯定回答80%以上</p>	
<p>健全な身の育成</p>	<p>(1) 自律と自尊心育成 ア 挨拶指導、遅刻指導 イ 充実した自治会活動、クラブ活動 ウ 教育相談の充実</p>	<p>ア 朝の立ち番、登校指導週間の実施</p> <p>イ 体育祭、文化祭の充実。新入生への部活動入部促進。アルバイト原則禁止の徹底</p> <p>ウ ・教育相談委員会の定例化と充実 ・支援教育コーディネータ中心に支援委員会を充実</p>	<p>ア 年間総遅刻件数4000以下（H25：5048）</p> <p>イ 部活動入部率80%以上（H25年3月時点：76%）</p> <p>ウ 学校教育自己診断「親身になって相談に応じてくれる先生多い」肯定回答70%以上（H25年60%）</p>	
<p>夢・志のはぐくみ</p>	<p>(1) キャリア教育 ア 総合的な学習・LHRの充実 イ 国際理解教育の推進</p> <p>(2) 地域・保護者連携強化 ウ 近大や他大学との連携・司馬遼太郎記念館との連携</p> <p>エ 保護者・PTAとの連携強化</p>	<p>ア From Now（総合的な学習）・LHRの見直し</p> <p>イ 国際交流の推進と国際理解教育の推進 オーストラリア短期語学研修実施</p> <p>ウ 体験講義・出前講義等の実施と充実。 司馬遼太郎学習プログラム、菜の花忌運動の展開</p> <p>エ PTA活動と連動させた、年二回の授業見学週間の実施</p>	<p>ア、イ From Nowの見直しで、自己の確立とコミュニケーション能力、さらには異文化と共生できる資質や能力を育成する。 「国際理解教育に力を入れている」肯定的回答50%以上</p> <p>ウ 司馬遼太郎学習プログラム1年生全員。 菜の花の忌運動1、2年生参加10%Up 1、2年生全員がオープンキャンパス訪問</p> <p>エ 授業見学参加者50人以上</p>	

機能的な組織運営	<p>(1) 情報化の推進と業務効率Up</p> <p>(2) 運営委員会ミドルLeader 育成</p> <p>(3) 若手教員の育成</p> <p>(4) 防災教育・訓練の充実</p> <p>(5) 広報活動の充実</p>	<p>(1) ア 内部データの電子化、情報共有化。Mail の活用、職員会議のペーパーレス化。</p> <p>(2) イ ミドル層に経営参画を意識させ、積極的提言を求めていく。</p> <p>(3) ウ 同年代の他校教員、他業種との交流の場を設ける。新任教員への校内研修実践</p> <p>(4) エ 防災訓練の実施</p> <p>(5) オ 学校説明会充実、中学・塾のへの訪問リーフレット作成</p>	<p>ア 職員会議のペーパーレス化</p> <p>イ 課題テーマごとにPT を組織し、企画会議、運営会議に提言してもらう</p> <p>ウ 他校との交流、他業種との交流（各1回/年）、研修実践</p> <p>エ 警察、消防との総合訓練実施</p> <p>オ 志願者倍率の維持（前期 4.84 後期 1.26）</p>
----------	---	---	--